

前日光の秋 解禁しました。



横根高原ガイド 秋編

豊かな自然が残る前日光地域。標高1,300mの横根高原で美しい紅葉を観察しませんか。晩秋の澄み渡った風の中、遊歩道を歩きながら、ときには一息ついて深呼吸。ゆっくりと流れる時間をお楽しみください。



横根高原 自然観察 地図



Start 前日光ハイランドロッジ

25分

A : 象の鼻

5分

B : 仏岩

10分

C : 井戸湿原

40分

D : 五段の滝

20分

F : 湿原荘跡

30分

Goal 前日光ハイランドロッジ

※時間は目安です。ゆっくり自由気ままに歩くのが横根流。



AからDの各スポットの場所は、裏表紙の地図をご確認ください。

A：象の鼻



コース中、最も視界の開ける場所です。ほぼ真北に男体山。その右隣は順に大真名子山、小真名子山、女峰山と続きます。展望台に、山々の解説がありますので、実際の景色と比較してください。スカイベリーの名前の元になった皇海山(すかいさん)はツンと尖った形ですぐにわかります。お隣の群馬県の赤城山も確認できるでしょうか。

条件さえよければ、富士山も見ることが出来ます。方位磁石をお持ちの方は、それを見ながらのあたりになるか想像してみてください。赤城山の左方向、方角だと南南西あたりが富士山の位置です。意外に南なのですね。

足元をご覧くださいませ。山椒の葉を拡大したような形で、赤く色づいている葉はやまうしの木です。この距離ならかぶれることはありません。

展望台から振り返っていただくと、大きな岩が目に入ります。この岩が象の形に見えることから「象の鼻」という名称が付きましました。象の鼻から仏岩へ向かう道に、色づいた小さな葉を見せてくれる木々があります。これらはアカヤシオやトウゴクミツバツツジなどです。

足元に、小さな動物の糞が見つかるかもしれません。何の糞か、想像してみてください。

B：仏岩



この周辺にある低木の多くはトウゴクミツバツツジです。春には薄紫色の綺麗な花を咲かせます。道の左右から茂っているため、花のトンネルをくぐって歩くようになります。秋には一足早い紅葉を楽しませてくれます。この自然観察の間に色づいている姿を見られるでしょうか。

足元を見ていただくと、大きな岩がごろごろしているのが見えます。苔むして趣のある風情を見せているものもあります。これは岩海のいわば予告編です。この奥に本当の岩海があります。

横根高原は野鳥の宝庫でもあります。ちょうど今の季節は夏鳥が旅立った後で、冬鳥の到着前にあたります。今見られる野鳥はシジュウカラやヒガラ、コガラ、それにキツツキと呼ばれるアカゲラやコゲラなどです。時々立ち止まって耳を澄ませると、アカゲラやコゲラが樹をつつく音が聴こえてくるかもしれません。

もう少し秋が深まると、冬の渡り鳥「オオマシコ」の可愛いピンク色の姿を見ることができるようになります。

気になる方は、ハイランドロッジで販売している「花かおる横根高原」(税込990円)をご覧ください。

C：井戸湿原



ここは標高が1,300mです。標高が高く、気温が低いいため、枯れた植物が完全には腐らずに積み重なり、泥炭状の湿原が誕生しました。その速度、なんと1年に1mmほどです。これだけの湿原ができるのにおよそ1万年かかったと言われてます。

湿原の中ほどで葉を赤く染めているのは、アカヤシオやトウゴクミツバツツジ、ヤマツツジなどです。紅葉も綺麗ですが、春にはこの場所にそれぞれの色の花が咲くということなので、想像してみてください。また、湿原周辺ではオオイタヤメイゲツやヤマノギリソウ、アケボノソウも確認できます。

足元付近に「ナンタイブシ(トリカブト)」の花が確認できるかもしれません。8月の下旬ごろに咲き始め、9月に満開を迎えますが10月に入っても順に花が咲き、楽しむことができます。

春から夏にかけては湿原らしい植物が見られますが、一時湿原が失われそうになりました。現在は湿原を守るため、丸太で帯工(おびこう)を設置し、水が湿原内にとどまる時間を長くする工夫をしています。葉が落ちた今の季節には、その苦勞の跡が確認できるはずですよ。

D：五段の滝



周囲を見渡してみてください。大小さまざまな丸い岩がごろごろあって、それぞれ苔むしてあたたかみのある森を思わせます。これが「横根山の岩海」です。広範囲にわたってたくさんの花崗岩(かこうがん)がごろごろと集まっていることからその価値が認められ、鹿沼市の天然記念物に指定されています。指定されたエリアはごく一部ですが、実際にはその何倍もの面積に岩海が広がっています。

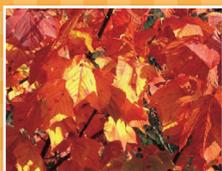
これは、横根山を形作っている花崗岩が地表に露出し、風雨によって浸食されたもので、中には直径が数メートルに及ぶ大きなものもあります。歩きながら探してみてください。

この周辺で初秋に色づくのはカエデやクヌギなどです。この木々が鹿沼市の誇る清流の源となっているのです。

道すがら、伐採した木が重ねられている様子を見かけることがあったと思います。これはかつてこの周辺に植林されたカラマツです。カラマツは本来この地域にはない樹木で、これが他の植物や湿原に影響を与えることを防ぐため、少しずつ伐採しています。

木道がぬれていると滑りやすいので注意してください。

横根高原で見つける小さな秋



ウリハダカエデ



オオイタヤメイゲツ



コミネカエデ



イタヤカエデ

名前の由来を知ると面白い果実・種子



ズミ



ムラサキシキブ



メギ



ナナカマド

詳しくは、ハイランドロッジで販売中の「花かおる横根高原」をお買い求めください。売上は保全活動に充てられます。